

●平成 30 年度採択技術（自主研究 2 年目終了）

- 維持管理情報のビッグデータ解析による効果的なマネジメントサイクルの確立に関する実証事業（日水コン・積水化学工業・日之出水道機器・下水道管路データバンク・兵庫県・高知県共同研究体）

平成 30 年度及び令和元年度の実規模実証研究に引き続き、令和 2 年度及び令和 3 年度に自主研究が行われ、技術全体のうち「管路情報の一元化技術」について十分な成果が得られて、ガイドライン化が図られた。

今後は、管路情報の一元化技術を実務利用する中で、機械学習による緊急度予測技術や計画策定の自動化技術に関する効果検証に必要な情報や知見の集積が図られることが期待される。